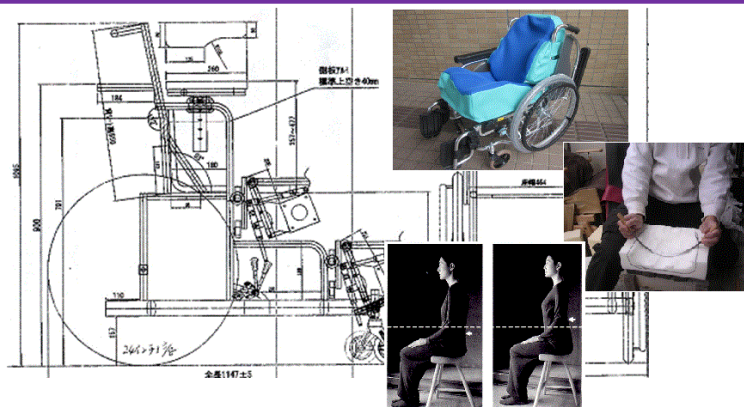


【ユニリハ】 作業と姿勢と人間工学

～ 臨床で使おう 基礎編 ～

ポジショニング、シーティング、
フィッティングは人間工学から
生まれました。

まずは、
基本となる工学エビデンスを
学びませんか。



日時 2018年1月5日(金) 18:45～21:30

・会場 調布市文化会館たづくり (東京都調布市小島町2丁目33-1)

参加費 7000円(税込)

・申込URL <https://www.meducation.jp/seminar/regist?id=55720>

お問い合わせ 日本ユニバーサルリハビリテーション協会

TEL 042-208-0102

E-mail otmode@jcom.home.ne.jp

URL <http://universalreha.com/>

～車椅子を卒業する～

私たち誰もが工学がもたらしたインテリアを利用しています。

それならば、車椅子を卒業し「もう一度椅子に座る」「もう一度インテリアを使った生活をする」という健康者と同じ生活環境へ戻す役割の一端を医療は担っているのではないのでしょうか。

いつまでも車椅子に座る事を考えずに、原点である人間工学という基礎を振り返ることで、治療に応用し、再び馴染みのある道具やインテリアの利用を考える事が本セミナーの目標です。

日常で使っているテーブルや椅子、身体の疲れをとってくれるベッド等様々な道具はインテリアです。同じように、患者様が使うインテリアに椅子から生まれた「車椅子」があります。そしてインテリアは人間工学から生まれました。患者様が使う車椅子を知る、椅子を知る、ベッドとは何かを知るために、まずはインテリアの基礎である人間工学を学びませんか。

そこで、作業と社会活動に伴う姿勢制御をどのように捉え、ユニバーサルデザインを確立してきたのか、更に私たちが日々の日常で何気なく使っているインテリアや作業椅子、作業台に隠された原理を解き明かすことで、作業療法や作業療法士の臨床に生かしていく技術や方法論と心理精神活動に影響する事実をご紹介します。

『作業と姿勢と人間工学』・・・何気なく使っている道具は、治療機器に見えてくるかもしれません。